

登録コード	TSJ97500	開講年度	2026			
授業科目	モデル駆動ソフトウェア開発演習Ⅱ				担当教員	小形 真平
英文授業名	Model-Driven Software Development Tutorial 2				副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	情報数理・融合システム分野2年生
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6TSカリ，2 5TSカリ，2 4TSカリ，2 3TSカリ					
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	モデル駆動ソフトウェア開発分野ひいてはソフトウェア工学分野における数理的基礎を理解できるようになる。
(2)授業の概要	モデルベーステスト、リバースエンジニアリング、ソフトウェア進化を中心とする情報・ソフトウェアの基礎技術に関する最新のトピックスについて、その数理的基礎を理解することを目的とする。集中講義形式にて実施し，前期集中2 0時間，後期集中2 5時間の合計4 5時間の演習を実施する。演習では、当該分野の文献調査やそのプレゼンテーション、討論、輪講を通して、その数理的基礎を理解する。					
(3)授業計画	各回集中5時間（1コマ2時間×1日2．5コマ）で実施する。課題については、授業当日に課し、締め切りを次回授業日とすることを原則とする。 前期 第1回：ガイダンス、基礎演習および解説 第2回：ソフトウェア工学に関する文献調査演習 第3回：モデル駆動ソフトウェア開発における保守・進化に関する文献調査演習 第4回：グループ討論 後期 第5回：ソフトウェア工学に関するプレゼンテーション演習 第6回：モデル駆動ソフトウェア開発における保守・進化に関するプレゼンテーション演習 第7回：ソフトウェア工学に関する英語基礎学術論文輪講および解説 第8回：モデル駆動ソフトウェア開発における保守・進化に関する英語基礎学術論文輪講および解説 第9回：最終プレゼンテーション・討論					
(4)成績評価の方法	受講者の作成するプロダクトおよびそのプレゼンテーションの内容（技術・手法の数理的基礎の理解の妥当性、プレゼンテーションとしての優劣等）によって評価を行い、単位認定を行う。					
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」とする。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」とする。3項目までできていれば「合格水準にある」とする。					
(6)事前事後学習の内容	提供する教材を用いて予習と復習を実施すること。					
(7)履修上の注意	学部授業「ソフトウェア工学」の内容を理解していることが必要となる。					
(8)質問,相談への対応	研究室にて対応する。					
(9)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					